毎日がクリスマス!

19世紀のアメリカの教育学者で、牧師で、詩人のヘンリー・ヴァン・ダイクの詩に
「Keeping Christmas」という詩があります。
教会でのクリスマス礼拝の説教や、ドラマのクリスマスエピソードに引用されていたりして、
ヴァン・ダイクを知らなくても、《毎日がクリスマス》という言葉はたくさんの人に知られています。
素敵な響きを持ち、温かく力強さを備えた言葉・・・・・愛を信じ、人を思いやる心があれば、
毎日がクリスマス!

★★★★★

クリスマスという日を大切に守り、祝うことよりも、もっと良いことがあります。
それは、毎日をクリスマスにすること。

あなたは、自分が誰かのためにしたことを忘れて、他の誰かがあなたのためにしてくれたことを覚えているかどうか。
あなたが社会に与えた恩恵を心に留めず、社会があなたに与えた恩恵について考えることができるかどうか。
（中略）
身をかがめて、小さな子供たちの望みや願いをじっくりと聞いて考えることがきるかどうか。
年老いていく人の弱さや孤独を思いやることを忘れていないかどうか。
どれだけ自分が友人に愛されているかを問題にするのではなく、
あなた自身が友人を十分に愛しているかと自分に問いかけているかどうか。
（中略）
醜い心を葬り去り、あなたの深い思いやりに溢れた庭を作り、
誰でも入れるように門を開けておくことができるかどうか。

これらのことを、たとえ一日でもできるのであれば、あなたは毎日をクリスマスにすることができる。

愛が世界で最も強いと、憎しみより、悪より、死よりも強いと信じ、
そしてベツレヘムで生まれ、祝福された命が永遠の愛であり、輝きであると信じることができるのであれば、
毎日がクリスマス。

もし一日そうできたなら、ずっと毎日をクリスマスにすればいい。
でも、一人だけでは続けようもない。

★★★★★

シェフが「ショコラティエ ラ・ピエール・ブランシュ」をオープンしたのは、
チョコレートの文化を日本に根付かせるために、本物のチョコレートを子供たちに与えたいと思ってのことでした。
「食文化だけではなく、芸術でも娯楽でも、本当に良いものを子供に与えることができて、初めてそれが文化として根付いたと言えます」。
チョコレートにのせて、シェフが子供たちに伝えたいことは、
《毎日がクリスマス》の思いと遠くはありません。

どうぞ素敵なクリスマスをお過ごしください。

Joyeux Noël !

Chocolatier La Pierre Blanche